

福祉センターのご案内

福祉センターは、お年寄りの健康増進、はりのある生活を送るためのレクリエーションやしあわせの里づくりの場として活用されるほか、身障者の療育相談及び訓練等広く地域福祉交流の場としても活用されています。

福祉バスは、教養活動や社会研修等幅広く運行されています。バスの運行計画の調整で日程表に変更が生じた時は各会長さんに連絡いたしますのでご注意ください。
※文化会館事務室内のボランティアの相談コーナーをご利用下さい。

日 程 表

▽利用時間：10時～4時

月・日	曜日	地 区
2・19	水	宮下・沖
2・20	木	大正琴教室・詩吟教室 リハビリ教室
2・21	金	四日市場・月見ヶ丘
2・22	土	自由利用
2・23	日	一般身障者保養教室
2・25	火	横 町
2・26	水	上夏狩
2・27	木	舞踊教室・民謡教室
2・28	金	高尾町
3・1	土	自由利用
3・2	日	囲碁教室
3・4	火	仲町・下町
3・5	水	新町・川棚
2・6	木	大正琴教室・詩吟教室 リハビリ教室
2・7	金	境
2・8	土	自由利用
2・9	日	郡内地区身障者療育訓練
2・12	水	羽根子・鷹の巣
2・13	木	舞踊教室・民謡教室
2・14	金	老人大学
2・15	土	自由利用
2・16	日	和楽会
2・18	火	早馬町

2月7日は 『北方領土の日』

北方領土——北海道の根室沖に浮かぶ歯舞群島（はぼまい）、色丹島（しこたん）、国後島（くぬしり）、択捉島（えとろふ）は、歴史的にも国際法に照らして見ても紛れもない日本の領土です。しかし、ソ連によって不法占拠されてから、すでに四十年という歳月がたつてしまいました。
二月七日は「北方領土の日」です。この日を契機に、もう一度この問題について考えてみましょう。

奪われてしまった かつての漁場

北方領土の近海は、コンブ、サケ、ホタテ貝、カニ、エビなどの水産資源が豊富です。不法占拠される前までは、ここに約三千百世帯、一万七千人の日本人が住んでおり、こうした水産資源を糧に生計を立てていました。
しかし、現在は一人の日本人も住んでいないばかりか、北方領土の近海で漁をすることもままなりません。なぜなら、この四十年近くの間に、なんと約千二百隻、八千六百人以上の日本人漁民が拿捕（だ

は）されてしまったからです。国土が狭く、また漁業の盛んなわが国にとって、北方四島はかけがえのない領土なのです。
この「掃らざる故郷」を一日も早く取り戻すには、わたしたち一人ひとりの間からわき起こる世論の高まりが必要です。一人の力は小さくても、それが集まればソ連との交渉を支える強力な力となるでしょう。
わたしたちは、北方領土問題を自らの問題として正しく理解し、返還要求運動の輪を広げていきたいものです。

図書館だより



新着図書のご案内

一月に購入した図書は次のとおりです。皆様のご利用をお待ちしています。

◇一般図書◇

男にとつて女とは何か

依田 明

ダグラス・マッカーサー
上・下 マンチエスター
なせいじめるの 朝日新聞社
天文の基礎教室 土田 嘉直
人工知能の世界 田村 進一
動物のことは入門 クレバー
気がつけば騎手の女房

吉永 みち子
おじいさんの台所・二年目
佐藤 慶女

ヤヌスの首 五木 寛之
結婚するバカしいバカ
小山 乃里子

◇児童図書◇

外百二十六冊
ほんはまっていますのぞんで

います かこ さとし
自立する子どもになろう

かくれんぼう 山川 しげみ
切手は語る 大谷 博
おりがみブロック 佐藤 芳夫
てがみのほん 全三巻 笠原 秀
おかあさんといっしょ 梅田 俊作
昔そこに森があった 飯田 栄彦

外六十一冊
計一冊

一般図書 百三十七冊
児童図書 七十一冊